

会長テーマ：クラブの主役は、会員一人一人です。

会長 荒井信弘  
幹事 中村直弘  
会報 佐藤陽二

国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループ越谷南ロータリークラブ  
〒343-0842 越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル 2F Email : info@koshigayasouth-rc.jp  
TEL : 048-987-5761 FAX : 048-987-5762 例会日 : 毎週木曜日 12 : 30~13 : 30



2018年 9月 20日 第2165回例会 会報

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【会長あいさつ】

荒井信宏会長



皆様、こんにちは。新年度になって、2ヶ月と20日経ちました。本日は、今後の行事について会長として、会員の皆様にお話したいと思います。

10月18日は、中川高志ガバナーのガバナー公式訪問です。クラブ例会に始まって、クラブ協議会、そしてガバナーを交えての懇親会と1日がかりのスケジュールです。

公式訪問の意義について書かれているものがありましたので、ここで、ご紹介します。

「ロータリークラブは、国際ロータリーに加盟しているのですから、クラブの定款細則だけでなく、国際ロータリーの定款細則を受諾しています。そのために、ガバナーがクラブを訪問します。クラブの現況を国際ロータリーの役員としてガバナーが自分の目で見るのです。これは査察ではなく、国際ロータリーや地区の方針の再確認です。単に慣例行事と受け止めず、クラブの現状が国際ロータリーや地区の方針にかなっているかどうか振り返り、同時にガバナーの助言を真摯に受け止めたいとあります」と書かれています。当日は、クラブ協議会で委員会活動方針等を発表する各委員長はもちろん、多くの会員の出席、御協力をお願いしたいと思います。

10月28日は市民まつり（例会変更）です。今年もちろん当クラブはミニSLを企画、実行しますが、例年とは少し違います。地区補助金を利用した東日本大震災被災地の支援事業の意味を持っています。社会奉仕委員会の小池委員長等のアイデアで、乗車した子供たちに各地域の名産お菓子和PR用の風船を配る計画です。いつになく、人

手が必要になるので、こちらは全会員の出席、御協力をお願いしたいと思います。

11月10日、11日は地区大会が大宮ソニックシティにて開催されます。1日目、2日目とも本会議がありますが、特に2日目は会員登壇によるクラブ紹介があります。さらに、記念講演には私など、ザ・ベストテン世代では知られている歌手の八神純子さんが来ます。もしかしたら1曲位歌うかもしれません。多くの会員の出席を期待しています。

12月はクリスマス例会です。今年和田親睦委員長が都内の素晴らしくお洒落な会場でのクリスマスを企画しています。まだ少し早いですが、たくさんの会員とたくさんの家族の方々の参加をお待ちしています。

【幹事報告】

中村直弘幹事



【クラブ】

- 2019~2020 小林操ガバナー年度の地区役員推薦の願いが届きました。地区への出向をご検討されている方はご連絡ください。期限は10月10日(水)までです。

【RI 第 2770 地区】

- 2770 地区ライダーズミーティングの案内が届きました。10月21日(日) 12:00~18:00、場所は春日部市内の庄和総合公園で開催されます。

(以前からの継続)

- ポリオ撲滅カウントダウンチャリティコンサートが11/29(木)にさいたま芸術劇場にて開催されます。チケット代3,000円です。
- RYLA 研修セミナーの案内が届いております。鹿児島県屋久島を本研修の舞台として開催されます。参加費用は一般の研修生 60,000円、ロータリアン 85,000円。12月末まで募集しています。



皆さんこんにちは

本日宅話の機会を頂きましてありがとうございました  
テーマは、趣味が高じてガレージを手作りした顛末記的なお話をしたいと思います。

メンバーの方には建設関係の方もいらっしゃるかと思います  
が、本件は まったくのど素人の銀行員が右往左往しながら何とか完成させた言うお粗末な話でございますのですが、つまらない話と笑い流して頂ければと思います。

私は自他共に認める多趣味人間で、元来の凝り性の性格も相まって色々な趣味があります。沢山の趣味の中で最も趣味歴が長いのが車であります。18歳で免許取得して以来20台以上の車を乗り継いで来ました。

車好きの多くの方は、ガレージを持ちたいとの願望をお持ちのようです。私も17年前に自宅新築した際 ガレージを持ちたかったのですが、何分予算的に余裕が無く今日に至っております、退職をしたころに持てれば良いと考えておりました。そんな私が、ふとしたきっかけで手作りでのガレージ作りを思い立ち、約3年程前設計図も図面も無く 本当のフリーハンド的にガレージ作りを始めてしまいました。それが、今回お話する顛末記です。

いくら設計図がないとは言え、漠然としたコンセプトはありました。

- ①低予算
- ②完全手作り
- ③普通車1台分のスペース
- ④整備スペースの確保
- ⑤出来ればシャッター付き
- ⑥構造は単管パイプ組 但し外観・内観はパイプ組には見えない様に施工
- ⑦出来るだけ独力で！

これらのコンセプトだけで、まさにフリーハンドの制作に突入していきました。

作業開始は2015年12月5日 快晴の冬の朝妻と娘が終日留守にするその日は絶好のエクスedayでした。

自宅にある工具は「グラインダー・丸鋸・インパクトドリル・電動ドリル」位しか有りませんでした。

基本構造は、いわゆる工事現場で見かける足場パイプ いわゆる単管パイプでのパイプ組です。

建設の世界では、先ず測量をして施工位置を固め、基礎を作り基礎の上に設計図通りに構築していくのがセオリーでしょうが、私は無謀にもいきなりフリーハンドで何となくの大ききでパイプ組をはじめてしまいました。

作業初日の夕方にはそれなりの形にはなりましたので、

「これなら1か月もすれば完成するのでは？」と甘い考えでございました。その日の夕方 妻と娘が帰宅すると、自宅横のみぞばらしい車庫もどきを見て愕然とし、「見栄えが悪いし台風などで近所迷惑になるから即刻撤去しなさい！」との逆鱗に触れました。その場は「完成すれば格好良くなるから」とその場をなだめ解体の危機を脱しました。

作業は土日しか出来ませんのでまた次週となりました。次の週末までに考えをめぐらす中で、さすがに基礎的なものがないと台風の時はずいと考え基礎もどきの物も作り足しました。プロの方からすれば基礎のセオリーには程遠いど素人基礎ですが、完成後3年が経過し台風にも何度も遭遇しましたが、びくともしませんのでそれなりの基礎の役割は果たしていると思います。以降毎週土日 朝8時から夕方6時まで好きなゴルフのお誘いをすべて断り、本来 サラリーマンが休息に充てるべき休日を全てガレージ作りに費やしました。本来 私は銀行の支店長なのですが、このガレージ作りに没頭していた頃は「本職がガレージ職人で土日に仕事をし、平日は銀行で休息？？し週末までに体力・気力を回復させる」という支店長にあるまじき行動思考だったような気がします。各種マニュアルに慣れ親しんだ現代人にとって、マニュアルも無く、図面も無く助言・アドバイス・サポートも無い環境の中で、まったくのど素人がガレージを作るのは、全ての作業が相違工夫の連続でした。

「どうしたら？どんな部材を使ったら？どんな加工をしたら？低コストで抑えるには？」

等々 常に自問自答し 限られた時間の中で効率良く と考えながら工程がうまくいった時は喜びを、うまくいかず何度の何度もやり直す時には苛立ちを感じながら「なんでこんな事始めてしまったのか？」と後悔する場面もありました。

画像で振り返れば一瞬なんですが、完成までには延べ作業日数38日 12月に始まり完成したのは5月でした。

1日の作業時間8時間とすると総時間数は304時間にもなる大変な作業でした。

完成から3年が経ち、あの頃を振り返ると「あの情熱はどこから湧き出たのだろうか？」と自分でも不思議になることがあります。「終わらない作業は無い」との強い信念と情熱でコツコツ地道な作業を続けました。

完成した時の満足感と「ようやく終わった」との解放感は忘れることができません。今では 私が18歳の時に憧れ、いつかは手にしたいと思いつけた「昭和61年式 トヨタスプリンタートレノ」がフルレストアを経て、

当時の新車そのものの姿でガレージに収まっております。週末 ガレージのシャッターを開け コーヒー片手に愛車を眺め 整備をしたり磨いたり時には山に走りに行くのが至福の楽しみです。この至福のひとつを手に入れられたのも、あの時の苦勞と情熱があったからこそなのかな？と思います。銀行業務は何かとストレスが溜まりますが、週末の楽しみがあればこそその仕事の充実につながっています。

以上でございます

ど素人の酷い作業風景をお見せしまして申し訳ございませんでした。ご清聴ありがとうございます。

これからも宜しくお願い致します。

## 【RLI報告】



### 和田 浩会員

RLI 研修会に参加にあたり

そもそも小池会員より、研修に行きますか？の一言で内容も全く知らずに参加し致しました。次第見ましたら、50分の研修を6回受ける予定です、何故前の晩に飲みすぎたのか後悔しながらやっと終わりました。

何点か印象に残りましたのは、リーダーシップとは？必須条件として、思考、計画、準備、新しい事に取り組む意思、過去とらわれない事、及びリスクを取る自信です、と非常に分かりやすい言葉でした。私達の財団の研修では、ロータリーの組織について勉強しました。会員を引き込むでは、現在の私達が置かれている状況、そして、ロータリーとは？その表現について勉強しました。私自身草加に在住しており、草加の方々より、何故ロータリーに入ったの？何故越谷なのと、質問されますが、その適当な言葉が見つからず、今回のような研修を積み、理解度を高める必要があると感じましたし、私自身は、現在ストレスのない様気をつけながらロータリーに親しみを持つ様に努力しておりますが、将来は、同士を増やすにあたり、この様な研修が、必要だとまた改めて考えさせられました。奉仕PJの創造では、ケーススタディーを、グループ単位で行いました。

まとめとして、継続する事業を改善し、新たな奉仕活動を創造する事も大切ですが、人材はその基本ですから、減らさず増やす為にも、次回11月30日は前の晩は早く切り上げ、万全の状態で見たいと思います。貴重な体験をありがとう御座いました。



### 水町俊介会員

去る9月7日金曜日、大宮ソニックシティでRLI（ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート）に参加してきました。

当クラブからは小池会員と和田会員と私が参加しました。

全体の参加者は89名でしたが、これを6つのグループに分けて、6つのセッション（講義）を順番にめぐり、という方法でした。それぞれにディスカッションリーダーがいらし

て、その方が中心になって進めていました。

内容としては以下の通り。

①「リーダーシップの本質をつかむ」という題で、ロータリーにおけるモチベーションの高め方について議論しました。

②「私のロータリー世界」という題で、ロータリーの目的や組織構造についての講義でした。

③「倫理と職業奉仕」。なぜロータリーには職業分類があるのか、職業奉仕とは何か、について議論しました。

④「私たちの財団」と題し、ロータリー財団について、財団が何のために存在し、何を行っているのか、寄付金はどのように使われているのか、などについての話でした。

⑤「会員を引きこむ」というセッション。増強についての話ではなく、既存の会員に、いかにしてクラブの事業に積極的に参加してもらうか、という観点からのディスカッションでした。他クラブの取り組み方などを聞くことで、参考になるものが多数ありました。

⑥「奉仕プロジェクトを創造する」。いくつかの事例を基にして、ロータリーで取り組む奉仕プロジェクトを立案していく、というセッションでした。個人的にはこのセッションが最も興味深いものでした。ごく単純な事例だったんですが、実際に取り組んでみたくなくなってしまいうほど、真剣に話し合いをしていました。

参加して感じたことは、入会して日の浅い会員にとっては、ロータリーの、本当にざっくりとしたことを理解するのに役立つものだろうと思いますし、ベテラン会員にとっては改めてロータリー活動を見直すための、いいきっかけになるのではないかと、ということです。

## 【スマイル報告】

お陰様で

スマイル 18 件 18,000 円

累計 407,500 円

スマイルを頂いた方（敬称略・順不同）

中島、瀬尾、浅水、中内、小林(光)、水町、加藤、石川、飯泉、長澤、田中(誠)、和田、中野、荒井、染谷、神谷、吉田、深井……………ありがとうございます。

## 【出席報告】

例会日	平成30年9月 20日		
会員数	47名	出席	22名
出席免除者	4名	欠席	20名
出席率	51.16%	前々回MU	名
MU修正率	%	会報担当：石川	

## 【会報担当より一言】

ガバナー公式訪問が迫っています。

出席率100% お願い致します。